

**製品名: hnRNP K ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe02107**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット、ハムスター
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.45mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 51 kDa; Observed MW: 58 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	HNRNPK
別名	HNRNPK; HNRPK; Heterogeneous nuclear ribonucleoprotein K; hnRNP K; Transformation up-regulated nuclear protein; TUNP
遺伝子 ID	3190
SwissProt ID	P61978
免疫原	ヒト hnRNP K の合成ペプチド

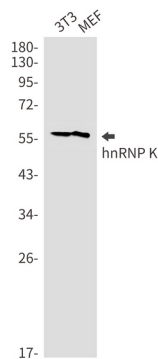
**背景**

pre-mRNA のプロセッシングと mRNA の核から細胞質への輸送を促進する。hnRNP K は、ポリ(C)DNA および RNA 配列に結合する KH ドメインと呼ばれる 3 つの独自の構造モチーフを含む。この複雑な構造により、hnRNP K は mRNA の生合成、転写調節、およびシグナル伝達を促進する。研究により、細胞質における hnRNP K の発現は口腔扁平上皮癌および膀胱癌で増加しており、潜在的な予後因子となる可能性があることが示唆されている。

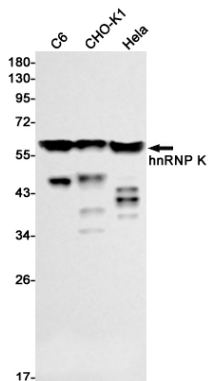
## 研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

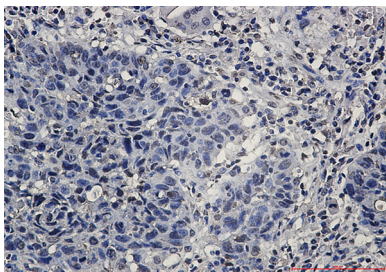
## 画像データ



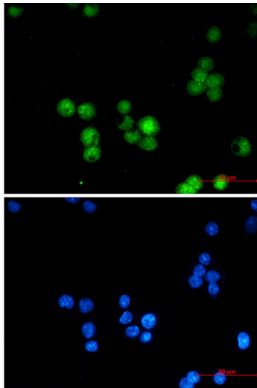
hnRNP K 抗体を使用した 3T3、MEF 溶解物中の hnRNP K のウエスタン プロット分析。



hnRNP K 抗体を使用した C6、CHO-K1、HeLa 溶解物中の hnRNP K のウエスタン プロット分析。



hnRNP K 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。



hnRNP K 抗体と DAPI (青) を使用した MCF-7 の hnRNP K (緑) の免疫細胞化学分析。